

令和3年度東京都立総合工科高等学校（定時制課程）学校経営報告

(1) 学習活動

目標：基礎・基本の定着と学力向上策の推進	
取組と自己評価	次年度以降の課題と対応策
確かな学力と基礎・基本の定着【1-1】	
スローラナーに対するきめ細かな学習指導【1-2】中途退学者1名。コロナ禍のため総工定ベーシック未実施	新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、消毒作業に伴う短縮授業を検討し、実施する。
到達目標を設定した本校独自の学力テスト実施【1-3】1回実施	学力分析会を実施、報告。職員間の共通理解を図る。
「総工技能スタンダード」に基づいた技術・技能の定着【1-4】	新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、消毒作業に伴う短縮授業を検討し、実施する。
普通教科の組織的・横断的な指導や授業力向上の推進【1-5】学期1回実施	相互授業参観週間を設け、普通教科内での研究協議を行う。
授業力向上のための相互授業参観の実施【1-6】実施できず。校内純化の帰化に適宜実施。	相互授業参観週間を設け、普通教科内での研究協議を行う。
生徒の主体的・対話的で深い学びの視点での授業の推進【1-7】ICTの活用は8割。自己申告書面接で指導助言。	外部研修会、先進校への授業参観に積極的に派遣し、報告会を実施。授業観察で確認後面接で指導。
長期休業中に生徒のニーズに応じた講座を開講【1-8】コロナ禍のため、資格取得の補習に留まる。	新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、密にならない場の設定を行う。
放課後や長期休業日を活用した資格取得指導の推進【1-9】	
数学技能検定、漢字能力検定、英語検定等への取組みの推進【1-10】数件1名	普通教科での強力な推進を図るとともに、全定での協働とする。
読書活動の推進【1-11】国語の授業で図書館活用。	課題図書への提示、及び授業での図書館利用を進める。
主権者教育の推進【1-12】	HR活動、特別活動を通じた啓蒙を推進する。
オリンピック・パラリンピック教育の推進とレガシーの創造【1-13】実施できず。	年間行事計画に位置付け、継続的な障がい者理解及び、ボランティアマインドを醸成する。
専門科目の実習や課題研究に「探究」の視点（発見する力・考える力・調べる力・まとめる力・表現する力の育成）を導入【1-14】ICTの活用は8割。授業観察後指導助言。	課題研究発表会をゴールとせず、さらに課題解決を図るための方策を考えさせる。

(2) 生活指導

目標：生徒自ら規律・規範を身に付けさせる生活指導の確立	
取組と自己評価	次年度以降の課題と対応策
特別指導件数の減少【2-1】特別指導件数0件。	面接週間を活用し、生徒理解に努めさせる。
生徒相談体制の充実【2-2】実施済み。ケース会議を2年目にして1回実施。	保健相談委員会を基盤とした生徒情報交換会で共有し、個別支援の必要な生徒へのケース会議を実施する。
授業規律の確立【2-3】ほぼできている。	全教員での統一した指導体制を今後も進める。
経営企画室と連携した校内美化体制の確立【2-4】実施。	副校長、生活指導主任を核とした校内美化を進める。
交通安全指導（自転車、オートバイ）の徹底【2-5】交通安全教室実施。学校管理外でバイク事故1件。	年度当初に交通安全教室を全学年に実施。
情報モラル指導の充実【2-6】実施。	年間行事計画に位置付けるとともに、授業において全教員が啓発を行う。
薬物乱用防止教室の実施【2-7】事故0件	年間行事計画位置付け実施。保健授業でも取り扱う。
いじめ総合対策に基づいた組織的な対応【2-8】中途退学0人。実施。	年3回のアンケート、面接週間により早期発見を行う。保健相談委員会を基盤としたいじめ防止対策委員会、学校サポートチームで指導案を作成する。
体罰、不適切な指導の根絶【2-9】校内研修3回実施。体罰、暴言なし。	校内研修を実施。日常から周知を図る。

特別支援教育への対応【2-10】S C同席でのケース会議1回。情報交換会3回。外部講師による全定合同特別支援教育校内研修2回。	継続的に実施。
遅刻指導の徹底【2-11】毎日3名以上の教員で対応。	毎日実施し、声掛けを行わせる。

### (3) 進路指導

目標：キャリア教育と個に応じた進路指導の充実による進路決定率100%の実現	
取組と自己評価	次年度以降の課題と対応策
キャリア教育の充実【3-1】実施。	年間指導計画に基づいたキャリア教育の実施。
生徒一人一人に応じた進路指導の充実【3-2】8年連続100%	進路指導主任を核とした進路指導
生徒の適性に合った就職指導の充実【3-3】100%	個人面談により個に応じた進路指導。
計画的な個別面談・三者面談の実施【3-4】実施。	1年次から計画的な面談の実施。
入学から卒業までを俯瞰した進路指導体制の確立【3-5】	コース別HRを活用し、指導計画に基づいた指導体制
生徒のプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の育成【3-6】実施済み。	課題研究発表会に向けた指導の充実。地域と連携したものづくり。

### (4) 特別活動・部活動

目標：奉仕体験活動や部活動の活性化による活気あふれる学校づくり	
取組と自己評価	次年度以降の課題と対応策
部活動の推進【4-1】100%	強制入部から脱却し、活動することであられる充実感を持たせ、帰属意識を醸成する。
学校行事を通じた活気ある学校づくりの推進【4-2】全定合同での文化祭が開催できなかった。	新型コロナウイルス感染症に鑑みた、工夫した行事を実施。
地域と連携した奉仕体験活動の推進【4-3】コロナのため「ものづくり教室」、「せたがや産業フェスタ」中止。代替で地域制総統実施。	新型コロナウイルス感染症に鑑み、代替案も含め検討し、実施する。
礼節や愛校心・帰属意識の涵養【4-4】行事で適正に実施。コロナのため校歌を流し、斉唱無しで実施。	登校時の挨拶指導を行う。各行事で実施。斉唱できなくとも、必ず校歌を聞かせる。
工業科コース別HRの継続【4-5】実施。	最低年間3回実施。

### (5) 健康・安全

目標：健康づくりと防災・安全指導の推進	
取組と自己評価	次年度以降の課題と対応策
安全指導の推進【5-1】コロナを含め適宜実施。	登校時の声かけ。授業時・HR・特別活動で適宜実施。
生徒の健康づくりの推進【5-2】がん教育実施。	健康診断結果に基づいた保健指導、保健授業の活用。
学校給食を通じた食育の充実【5-3】重大事故なし。	全教員での給食指導。成分表等の表示。
学習環境の整備と計画的な維持・管理【5-4】実施。	教職員での巡回点検。
関係機関や地域と連携した防災訓練の実施【5-5】コロナ禍のため全定合同は中止。起震車、煙体験を世田谷区と連携実施。	成城消防署、世田谷区の地域防災課との連携。全定合同での防災訓練。
「アクティブプラン to 2020」に基づく体力向上の取組みの推進【5-6】	体育授業、運動部活動での継続的な体力向上へ取り組む。
自殺防止対策の推進	S C面接、個人面談、保健相談委員会の充実。

### (6) 募集・広報活動

目標：定時制課程の意義を踏まえた募集活動の充実	
取組と自己評価	次年度以降の課題と対応策
応募倍率の向上【6-1】	外部説明会への積極的参加。
中学校と連携した広報活動の推進【6-2】中学校訪問継続中	全教員での中学校訪問。
ホームページによる情報発信の充実【6-3】43回更新	ホームページでの情報発信。60回以上。
地域交流の推進【6-4】コロナ禍のため未実施。申込小学生	ものづくり教室の実施。世田谷産業フェスタへの参加。

に、1・2年生徒が作成しプレゼン。	
(7) 学校経営・組織体制	
目標：「面倒見のよい総工」ブランドの確立	
取組と自己評価	次年度以降の課題と対応策
新学習指導要領実施に向けたカリキュラムの決定【7-1】4回開催。	検証しながら、R5に向けた見直し。
OJT診断基準、執務ガイドラインを活用した人材育成の推進【7-2】実施したが、不調。	全定合同での副校長、主幹教諭による勉強会。主任教諭受験者3名。全員合格。
情報セキュリティにかかわる規定の厳守【7-3】事故0件。	日常から注意喚起。定期的な研修会。
経営参画ガイドラインに基づいた経営企画室の経営参画【7-4】	連携強化
経営企画室の確実な執務執行【7-5】適正に実施。	管理職との打ち合わせで確認。
全・定の学校運営における連携の推進【7-6】1回に留まっている。	校長・全定副校長の打合せ。全定合同の主幹会議。全定合同の分掌主任会議。
自己申告目標を通した学校経営計画の具現化【7-7】実施。	自己申告書面接での指導・確認。目標設定。
サービス事故を「しない・させない・許さない」職場づくり【7-8】事故0件。適正実施。	年3回の全定合同での研修会。各種会議、打ち合わせ時に周知。机上、校内観察。定期考査の適正実施。
企画調整会議を中心とした意思決定の徹底【7-9】付会実施。打合せは毎日。起案は100%。必要以上に起案をしている。	継続的に実施。起案方法について指導。
中途転退学者の減少【7-10】中途退学者3名	全教員での予兆を見逃さない観察。面談の実施。
ミドルマネジメントによる戦略的な学校経営の推進【7-11】	副校長・主幹教諭を核とした・分掌主任会議実施。
ライフ・ワーク・バランス実現【7-12】目標達成。	夏休100%取得。閉庁日の確実運用。年休の計画的取得。